

達成度表の使い方（令和6年4月2日）

在籍番号	2022入学生用	
氏名		
コース		
科目外項目	2年生：環境レポート	
	2年生：工場見学（プログラム指定）	
	2年生：工場見学・講演会レポート	
	3年生：工場見学（プログラム指定）	
	3年生：工場見学レポート	
	1～3年生：学習の振り返り	
	4年生：卒業研修・卒業研究のマネジメント（計画と従事時間記録）	

セルをクリックして、▼を出して、選択肢を選ぶ。

目標ごとの達成度

科目区分(細区分)名	授業科目名	科目の分類	単位数	主に対応するプログラムの学習教育目標	開講時期	青セルには単位数を取得したターム(1T~4T)に取得単位数を記入する。灰色セルは単位数を取得したら○を選択する。(過年度で単位数を取得した場合にはセルをコピーして"○"を選択する)												単位数合計					
						1年生			2年生			3年生			4年生								
						1T	2T	3T	4T	1T	2T	3T	4T	1T	2T	3T	4T	1T	2T	3T	4T		
英語		Gコード科目		F	指定なし																		
初級外国語		Gコード科目		F	指定なし																		
健康・スポーツ(体育実技)		Gコード科目		F	指定なし																		
健康・スポーツ(体育講義)		Gコード科目		F	指定なし																		
情報リテラシー		Gコード科目		C	指定なし																		
新潟大学個性化科目		Gコード科目		A	指定なし																		
留学生基本科目		Gコード科目		A	指定なし																		
大学学習法(大学学習法)	工学リテラシー入門(化学材料分野)	Gコード科目	2	C	1年 1T																		
自然系共通専門基礎		Gコード科目		C	指定なし																		
自然科学		Gコード科目		C	指定なし																		
人文社会・教育科学		Gコード科目		A	指定なし																		
医学学		Gコード科目		C	指定なし																		
工学科共通(必修)	総合工学概論	工学基礎科目	2	C	1年 1T																		
工学科共通(必修)	総合技術科学演習	工学基礎科目	2	C	1年 2T																		
工学科共通(必修)	技術者の心がまえ	工学基礎科目	2	B	1年 4T																		

- 自分の入学年度に対応する表（エクセルファイル）を用いる。
プログラムホームページから適切なファイルを選択してダウンロードする。
ファイルは応用化学コースと化学工学コースの両方に共通になっている。
- エクセルシートは、記入できるセル以外はロックされている。ロックされているセルを選択しても何もできない。
- 氏名、在籍番号を入力する。
- コースを選択する。
灰色セルをクリックするとセル右に▼が出るので、▼をクリックしてリストからコースを選択する。
(2年生はコースが決まってから選択する。)

在籍番号	2022入学生用	
氏名		
コース		
科目外項目	応用化学	レポート
	化学工学	見学（プログラム指定）
	2年生	工場見学・講演会レポート

- 成績を入力する。
 - 青色のセル
科目区分ごとに該当するタームに取得した単位数の合計（半角数字）を入力する。成績通知書には不合格科目も記載されているので、合格した科目の単位数のみ集計する。
 - 開講番号（数字3桁+英字+数字4桁）の最初の数字3桁は開講年度（西暦年度下2桁+ターム）を表している。2023年度第1ターム開講科目の最初の数字3桁は231。複数タームにわたって開講される科目のターム数は0として表記されている。
 - 成績通知書の開講番号を見て成績を記入するセルを指定する。複数タームにわたって開講される科目は学期を見て、1期に開講される科目は2タームの単位数に集計し、2期に開講される科目は4タームの単位数に集計する。（科目名が指定されているものは専用のセルに記入する）
例1：外国語ベーシック I-5a（開講番号 231G1009）は1タームに開講されているので、1タームの取得単位として集計する。
例2：アカデミック英語 R（開講番号 230G0602）は3,4ターム（23-2期）に開講されているので、4タームの取得単位として集計する。

- ③ 単位数を入力し終えたら、合計単位数と成績通知書の科目区分ごとの合計単位数が一致していることを確認する。(情報リテラシーの青色セル合計単位数には「エンジニアのためのデータサイエンス入門」の単位を含めない)
 - ④ 他学部開設専門科目、工学科他プログラム開設専門科目は、その科目に対応する G コード科目として単位を集計する。
 - ⑤ シートの下方にある工場見学、特別講義など卒業時に認定される科目は実質的に入力できない
- (2) 灰色のセルは科目が指定されているので、単位を取得したら○を選択する。

総合工学概論	工学基礎科目	◎	2	C	1年 1T	-
総合技術科学演習	工学基礎科目	◎	2	C	1年 2T	-
技術者の心がまえ	工学基礎科目	◎	2	B	1年 4T	○
知的財産概論	工学基礎科目	◎	1	B	1年 3T	○

単位を取得した場合には該当セルをクリックして▼を出し、▼をクリックしてリストから○を選択する。

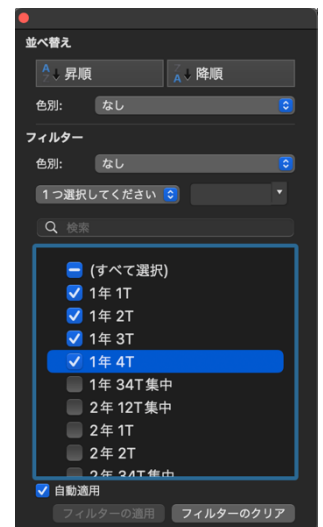
- ① 指定されている開講時期以外に単位を取得した場合には、灰色セルを~~コピー~~ドラッグして単位を取得したタームに~~ペースト~~して○を選択する。(○を記入してもよい。単位数を確認すること。)
- ② ~~指定されているセルに入力できない場合、他の青色セルあるいは灰色セルをコピー & ペーストすれば入力できるようになる。(できないときは学年担当教員に連絡する)~~

(3) オートフィルター

科目区分、科目の分類、プログラムの学習教育目標、開講時期などにオートフィルターが設定されている。特定の科目を選択するときオートフィルターを使うと便利。

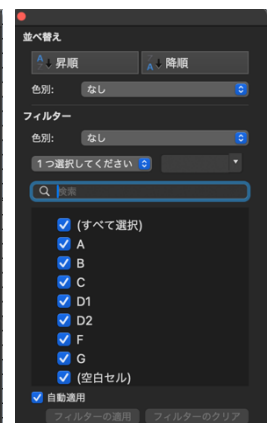
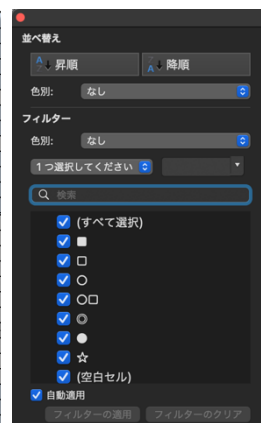
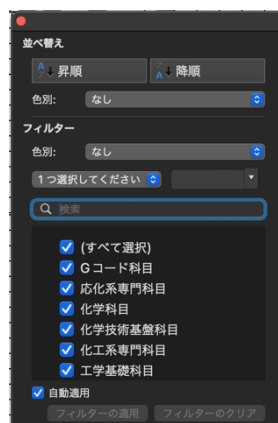
例：1年生開講専門科目をオートフィルターで選択すると、該当科目のみ表示される。

					学習教育目標	
	エンジニアのためのデータサイエンス入門	Gコード科目	◎	2	C	1年 1T
大学学習法 (大学学習法)	工学リテラシー入門 (化学材料分野)	Gコード科目	◎	2	C	1年 1T
工学科共通 (必修)	総合工学概論	工学基礎科目	◎	2	C	1年 1T
工学科共通 (必修)	総合技術科学演習	工学基礎科目	◎	2	C	1年 2T
工学科共通 (必修)	技術者の心がまえ	工学基礎科目	◎	2	B	1年 4T
工学科共通 (必修)	知的財産概論	工学基礎科目	◎	1	B	1年 3T
工学科共通 (必修)	情報セキュリティ概論	工学基礎科目	◎	1	C	1年 3T
特殊選択科目(D)	リメディアル演習	工学基礎科目		1	C	1年 1T
専門基礎科目群 (選択必修)	基礎無機化学	化学科目	☆	2	C	1年 4T
専門基礎科目群 (選択必修)	基礎有機化学	化学科目	☆	2	C	1年 3T
専門基礎科目群 (選択必修)	化学工学基礎	化学技術基盤科目	☆	2	C	1年 3T



G コード科目は (指定科目以外) 開講時期は指定されていないので、科目の分類で“G コード科目”を選択する。(主な G コード科目はシートの上方にまとめてあるので、オートフィルターを使わなくても入力に支障はない)

その他のフィルター：左から科目区分、科目の分類 (◎必修, ☆専門基礎, ●応化コース必修, ■化工コース必修, ○応化選択必修, □化工選択必修), プログラムの学習教育目標



(4) レーダーチャート

取得単位数と科目毎の学習教育目標寄与率から学習教育目標ごとの達成度を自動的に作図する。あくまで、最低限の目安として考える。レーダーチャートで全ての目標について達成度が1以上になることと卒業要件を満たすことは別のもの。

同様に、成績入力セルの右側にあるセル（右図）は内部計算確認用なので、これを使って進級や卒業の要件確認をしてはならない。進級や卒業要件の確認は自分の単位取得表と学生必携に基づいて行うこと。

専門科目		
☆		0
◎		0
●		0
○		0
■		0
□		0

単位数	必修	選択必修	合計
0	FALSE		0
0	FALSE		
0	FALSE		
0			
0	FALSE		
0			
0	FALSE		
0			
0	FALSE		
0			
0	FALSE	FALSE	
0	FALSE	FALSE	
0			

6. 科目外項目

科目以外に右記の工場見学や各種レポート提出を全て行うことがJABEE要件になっている。

レポートを提出したら“提出”を選択し、工場見学に参加したら“参加”を選択する。

科目外項目	2年生： 環境レポート	
	2年生： 工場見学（プログラム指定）	
	2年生： 工場見学・講演会レポート	
	3年生： 工場見学（プログラム指定）	
	3年生： 工場見学レポート	
	1～3年生： 学習の振り返り	
	4年生： 卒業研修・卒業研究のマネジメント（計画と従事時間記録）	

学習の振り返りでは、各タームに振り返りシートを提出し担当教員の確認を受ける。4年生進級時に指導教員から確認を受けて、“実施（確認済）”を選択する。

卒業研修・卒業研究のマネジメントの方法は4年4月ガイダンスで説明する。卒業論文発表会後に指導教員に従事ノートを提出し、指導教員から確認を受けて、“実施（確認済）”を選択する。

補足資料（NBAS との対応、達成度の評価方法）

新潟大学における学習・教育目標（NBAS）			化学システム工学プログラムの学習・教育目標						
知識・理解			当該分野固有の能力		汎用的能力		態度・姿勢		
a	b	c	a	b	a	b	a		
社会に対する理解 (A)	化学技術者・研究者としての役割や責任 (B)	自然科学・情報技術・工学基礎に関する知識、問題解決能力 (C)	応用化学の問題解決能力(D1)	化学工学の問題解決能力(D2)	コミュニケーション・合意形成能力(F)	問題解決・解決法評価能力(G)	自主的学習継続能力(E)		
30					60		10		
30					60		10		
10					60		30		
10					60		30		JABEE要件にしない
		90			10		0		
		90			10		0		

NBAS では主専攻プログラムにおける教育目標領域（知識・理解、当該分野固有の能力、汎用的能力、態度・姿勢）の到達目標の達成度を評価している。化学システム工学プログラムでは独自の学習教育目標（A～G）を新潟大学教育目標領域に割り当て、各科目区分あるいは科目について学習教育目標（A～G）への寄与率を定めている。

化学システム工学プログラムでは、各科目区分あるいは科目の取得単位数に寄与率を掛けて科目区分あるいは科目ごとの学習教育目標達成度を求め、学習教育目標ごとに集計して達成度を評価している。